

至誠の会 レポート vol.03



動き始めた施策と 変わりゆく前橋。

先進的な取り組みで“新しい政治モデル”を築く!!

前橋が輝くことで、群馬県さらには日本全体に光を充てる ～群馬の会(5月17日開催)での挨拶より抜粋～

暮らしを支えるべき政治が、人々の生活の中でいかに機能しているか、どのように役立っているのかを示し、実感してもらうことが私達の長年の夢でした。今、少しずつではありますが前橋市政の中でそれが実現しつつある、そのような手応えを感じています。

振り替えれば10年前、「残りの人生を社会のために捧げよう」と決意し、政治活動を継続しながら今日まで歩んで参りました。前橋市長に就任して5年。「前橋が実施している様々な取り組みが先進事例として世間に認識され、新たな政治モデルとして他の自治体が後を追ってくる。それによって必ず群馬、さらには日本が良くなって

いくはずだ」という想いを常に抱きながら、日々の業務に臨んでいます。

私は、この前橋と市民の皆様に対して、全力で責任を果たしていく所存です。この5年間で数えきれないほどの施策を講じてきました。その勢いをさらに加速させ、前橋、さらには群馬県に新しい光を充てることができたいと思っています。そのためにひとつお願いです。市民の皆様の一ひとり一人が、それぞれの立場で活躍していただくことが、本当の意味で前橋の改革や発展につながります。どうぞ、今後とも積極的な市民活動への参加・協力をお願い申し上げます。

動き出す、まちづくり～新たな価値の創造へ～

【中心市街地の再開発】

前号でも紹介しましたが、前橋の中心市街地に様々な変化が起こりつつあります。企業の力もお借りしながら、人が住み、暮らし、集える中心市街地へと生まれ変わろうとしています。賑わいの復活には右の5点が重要だと私は考えています。

そこで、前橋市では「中心市街地活性化基本計画」を作成し、多方面から人を呼び込むための施策を講じています。

賑わい復活のための5つのポイント

- ① 中心市街地の住人を増やす
- ② アクセスし易い交通
- ③ 商店の魅力アップ
- ④ イベントの集客効果をあげる連絡調整機能
- ⑤ 家族で出かけられる、出かけたくなる環境の整備

● 広瀬川

① 広瀬川テラス構想

新しい価値の創造の場として「広瀬川テラス構想」に取り組み始めました。これによって、JR前橋駅から広瀬川までの間に大きな変化が起こる可能性が高まりました。きっと3年後には大きな変化が生まれているでしょう。



広瀬川テラス構想イメージパース

② 岡本太郎作・太陽の鐘

世界的な芸術家・岡本太郎氏が制作した、高さ6mの造形作品「太陽の鐘」が日本通運様より前橋市に寄贈されることになりました。修復費用については、有志団体である太陽の会が負担していただきます。「太陽の鐘」は整備を予定している広瀬川河畔に設置することになりました。広瀬川の新たな名所になることでしょう。



記者発表の様子

● 本町五差路の改善

前橋市本町2丁目五差路の改善にも取り組み始めています。同所は渋滞の発生、歩行者交通の妨げなどの問題に20年近く悩まされてきましたが、それらを解消すべく、ついに事業化へと動き始めたのです。地下道(アンダーパス)を建設し、立体化する案などをベースに検討を進めています。



●朔太郎生家の移築

前橋が誇る詩人、萩原朔太郎の生家の一部を保存した「朔太郎記念館」を今春、敷島公園から広瀬川河畔に移築しました。原稿や愛蔵品を展示する前橋文学館との距離も近づいたことで利便性が向上し、さらなる観光誘客が期待できます。



【赤城山南麓エリア】

●赤城山ツーリズムの推進

赤城山麓には広大な中山間地が広がっています。さらには自然・環境重視農業を営む農家や個性的な6次産業化食品が生産されています。自然や農林業に携わる方々の力を結集し、アグリツーリズム(都会の人たちが農場や農村で自然体験を通じて休暇・余暇を過ごすこと)による赤城振興を目指していきます。

- ① 農林水産物を介した通じた活動
(加工品づくり、産直・直売所など)
- ② イベント
(ふるさとまつり・農林まつり、環境保全活動など)
- ③ 農林業・農村体験
(市民農園、田植え・稲刈り、植林体験、下草刈りなど)
- ④ 学校教育における農村や農林業とのふれあい
などの田舎暮らしの実体験

赤城山ツーリズム

スローシティー

- ・ 認証式
- ・ 伝統のまつり
(せせら舞、三番宴など)
- ・ 古民家活用

遊び

- ・ 自転車
- ・ 芋掘り
- ・ 漬物講習

雇用・人材

- ・ 移住コンシェルジュ
- ・ 地域おこし協力隊
- ・ 森林ビジネス&エネルギー

宿

- ・ 民泊&宿坊
- ・ キャンプ場
- ・ スノーピーク

食

- ・ 6次産業
- ・ 地ビール&野菜
- ・ 有機野菜

●前橋を「スローシティー」に!

赤城山南麓エリアの自然を活かした観光誘客を図るために、“スローシティー”を目指していきます。

“スローシティー”とは、地域の文化を尊重し、環境保護や地産地消を進める国際的な運動のことです。前橋市はこの考えに賛同し、国際団体に加盟申請しました。認定されれば宮城県気仙沼市(2013年4月)以来、国内2カ所目となります。

市民の皆様に対しても、まだその意味を広める努力を始めたばかりです。まずは目的や意義を市民全体で共有することが大切だと思っています。元々、赤城山では、農業生産を通じた地域食文化の継承、森林資源の活用や山菜採りなどが盛んです。そこにあるものを皆で磨き上げて豊かな地域づくりに臨んできたのですから、“スローシティー”の考えのもと、赤城南麓の暮らしを前橋の新たな宝にすることを目指しています。

景観条例、薪ストーブの補助、新しい6次産業化の農業、地産地消、農家や古民家民泊、体験型観光などをこれまで以上に推進していきたいと思えます。昔、糸井重里さんがTV番組の企画で赤城山の埋蔵金を探していましたが、赤城に眠る「宝」はこのような形で存在していたのです。



スローシティー
(イタリア語で
チッタスロー)
のロゴマーク



「スローシティー」目指す

